

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-163	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅡ	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
177 増進堂	C II 177-901	FLEX ENGLISH COMMUNICATION II SECOND EDITION		

1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法の目的と理念に則り、かつ英語コミュニケーションⅡで示される目標に向けて、次の3点を編修の基本方針とした。

1. 4技能（5領域）を統合的に扱い、コミュニケーションの力を総合的に養う。

英語コミュニケーションⅠではそれぞれの技能を断片的に取り扱う部分が多く見られましたが、この英語コミュニケーションⅡにおいては、それぞれの技能を複合的、統合的に扱うことにより、コミュニケーションの力を総合的に向上できるように工夫を凝らしています。具体例として、聞き取った内容をまとめ、まとめた内容を踏まえてグループやペアで意見や考えを共有し合う、といったように「聞くこと」から「話すこと」へ、ある技能から異なる技能へ続けて扱うような、複数の技能を用いてコミュニケーションを図る仕組みを随所に設けています。

2. 種類に富んだ題材を通して、国際理解、人間性を育む。

多様な社会をこれから生きていく生徒にとって、英語を学習していくと同時に、人間として個性や生き方を尊重し合うことや、社会的、文化的側面から国際理解も高められるように、異なる種類の題材を用意しています。ある人物の生き方に関する題材、社会的、科学的な題材など、豊富な種類の題材を通して、さまざまな考え方を育むための要素を含んでいます。得た知識を、言語活動を通して利用することで、他者の意見や考えに触れることができ、多様な観点を育むことができます。

3. 生徒自ら発信していく、主体的に学ぶ姿勢を向上させる。

英語コミュニケーションⅠで培った内容や言語材料は、継続して英語コミュニケーションⅡの中でも繰り返し使用されています。ⅠからⅡへスパイラルのように語彙や表現を繰り返し提示、使用を促す仕組みを紙面で展開することにより、定着を図ることができ、あらゆる技能を用いて発信していく姿勢を身につけていくといった工夫を凝らしています。また、さまざまな言語活動で、語彙や表現、例文など、一定の支援を設けています。聞き取りの問いで読まれているスクリプト自体が、発表用にそのまま使える仕組みになっているなど、単に聞き取って終わりではなく、聞き取った内容全体を参考にして次の活動へとつなげていくことができます。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Lesson 1 教科書本文	日本文化の一つとして挙げられる「アニメ」において、実在の場所を舞台にしたことにより、現地に訪れる人々が増加し、交流する機会が生まれ、その結果、経済効果を生み出す、という背景を読み取らせ、文化への尊重、また、国際社会の発展への寄与する態度を養わせたい。(第5号)	p.9-23
Lesson 2 教科書本文	若くして科学者、発明家として活躍するギタンジャリ・ラオ氏が、脚光を浴びるようになったきっかけを読み取らせ、また、彼女がこれから生きる生徒に対して抱く想いを理解させたい。(第2,3号)	p.25-39
Lesson 3 教科書本文	塩の役割に触れさせ、歴史的にどのように扱われたのか、文化的背景として、どのように使用されてきたのかを読み	p.41-55

	取らせ、伝統や文化を尊重する精神を養わせたい。(第5号)	
Lesson 4 教科書本文	ウミガメの生態などについて読み取らせることで、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養わせたい。(第4号)	p.57-71
Lesson 5 教科書本文	行列を待つ際の心理に関して、その心理状況や状態の変化をもたらす要因が何かについて学ばせることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養わせたい。(第1号)	p.79-93
Lesson 6 教科書本文	ヒューマンライブラリーの実情や実態を知ることで個々人の価値を尊重し、学習障害を持った人、あるいは職を失った人の話を聞くことで、他者の立場を想像し、相手への理解の態度も養わせたい。(第2,3号)	p.95-109
Lesson 7 教科書本文	坂茂氏が建てた建造物や災害時の慈善活動など、彼の考えや精神を学ぶことにより我が国の郷土を愛すること、また、他国を尊重し、国際社会への平和と発展に寄与する態度を養わせたい。(第5号)	p.111-125
Lesson 8 教科書本文	人間と常に共存するウイルスは、一体どのように形成されているのか、ウイルスに対してどのように対処し、発展を築き上げてきたのかについて触れさせ、生命を尊ぶ態度を伸ばすこと、また、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養わせたい。(第4,5号)	p.127-141
Lesson 9 教科書本文	サプールの考え方から、自主及び自立の精神を養うとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養わせたい。(第1,3号)	p.149-163
Lesson 10 教科書本文	宇宙飛行士として活躍された向井千秋氏の宇宙へ飛び立つまでのストーリー、宇宙で行った実験など、彼女のバイオグラフィを読み取らせたい。また、彼女が現在考えている宇宙研究の内容などを踏まえて、これからの宇宙開発や国際社会の発展に関連する内容を涵養する。(第1,5号)	p.165-179

3. 上記の記載事項以外の特に意を用いた

① 昨今、重要視される課題を題材にした点

観 点	特 色
1 近年注視される社会問題に関する題材について	◆世界各地で起きている社会問題に対して、どのように対応、解決していくべきかを考えさせるような題材を選定しました。具体的には、ウイルス(Lesson 8)に関する内容では、近年、新型コロナウイルスやインフルエンザなど、身近に感染症が存在すること、また、そうしたウイルスが引き起こす病は、世界的に問題視され、私たち生活や社会のあり方にも大きな影響を及ぼしました。また、「ヒューマンライブラリー(Lesson 6)」の単元では、LGBTQや社会的マイノリティの人たちに着眼し、他社への意識を向けることで、客観的な思考を養い、さまざまな社会問題に対する意識を養わせます。
2 科学界を牽引する人物について	◆若くして科学者、発明家として知られるギタンジャリ・ラオ氏(Lesson 2)はアメリカのある都市で起きた水質問題を機に、鉛を検知する装置を開発し、世界から脚光を浴びました。自身と同じような、若い科学者を育てるために、世界中でワークショップを開くなど、熱心に活動をしています。また、宇宙飛行士として有名になった向井千秋氏(Lesson 10)は、宇宙飛行士になるまでの過程もさることながら、現

	<p>在も最先端の宇宙科学の発展に寄与しています。科学の内容だけを切り取って文章で表現するとなると、どうしても専門的な内容ばかりになってしまい、技術や理論などの理解が難しく感じる場合があります。人物のバイオグラフィーをもとに、どのように科学と関わっているのか、どのようなことをしているのかなど、人物を引き合いに科学のトピックに触れることで、理解しやすいように工夫しています。</p>
<p>③ 伝統や歴史などの文化的価値</p>	<p>◆歴史や伝統、文化、芸術に関わる内容も紹介し、自国と他国との違いを受け入れ、それぞれの国の良さに気づき、さらなる視野を広げられるように理解を促しています。塩（Lesson 3）は日頃、調味料の一つとして使うことが多いですが、それ以外の用途でも使われています。歴史的な部分で見れば、お金の代わるものや、現代だとある宗教上の儀式や、化学製品にも塩は使われています。他国や異文化によっても塩の使われ方が異なる部分に着眼し、他の製品のさまざまな歴史、文化について調べる活動へつなげていきます。</p>

②主体的に学習に取り組められるような特色

観 点	特 色
<p>① 語彙学習を支援する Vocabulary Building</p>	<p>◆英語コミュニケーションⅠに比べて英語コミュニケーションⅡになると、新出語として学習する語彙数が約2倍近く増えます。語彙を効率的に学習できるような仕組みとして、Vocabulary Building ページを設けています。接頭辞、接尾辞、語幹など、語彙をパーツごとに見る意識を養うことで、語彙学習の効率化を図る工夫を取り入れています。</p>
<p>② コミュニケーション力を底上げする Skill</p>	<p>◆各 Skill のページでは、リーディングだけでなく、リスニングやスピーキング、ライティングなど、あらゆる技能で使える表現を学ぶことができます。Skill で紹介している項目は Lesson 内でも応用できるもので、Skill と Lesson を組み合わせることで学習を進めていくことで、英語の力を底上げします。</p> <p>◆基本的な Skill の内容を学んだ後に、練習問題（Let's do it!）を設けています。学んだ情報を復習することで定着を図ります。Skill で学んだ表現を利用した活動も設けており、インプット→インテイク→アウトプットという流れが自然とできる仕組みになっています。</p>
<p>③ あらゆる技能を統合的に扱う活動問題</p>	<p>◆Skill の練習問題と Lesson 章末の活動には、やり取り、発表を行う問題、記述形式の問題など、さまざまな技能を用いた活動を設けています。</p> <p>◆読んだ内容、あるいは聞き取った内容をまとめ、まとめた内容を踏まえて、意見や考えを共有したりする問いがあります。さまざまな考えや意見を共有することで、生徒の知識が深まり、思考力、判断力、表現力の向上に繋がっていきます。</p> <p>◆Lesson 章末の活動は、段階的に活動を進められるような形にしています。暗記、調査や分類といったインプット中心の低次思考力を用いる活動から、最終は発表や記述といった高次思考力を用いる問いへステップアップしていく形式になっています。段階的に活動を経ることで、情報を構築しながら最終のアウトプットまで移行できるため、唐突なアウトプットを求めることなく、順を追って活動を展開できます。こう</p>

	した形式の裏には、CLIL（Content and Language Integrated Learning）の理論をもとに作成をしています。
--	---

③生徒の学習を促す配慮

観 点	特 色
1 視認性の工夫	<p>◆本書の文字色や指示文について、弱視の生徒にも広く対応できるように黒色の文字で基本示しています。また、指示文はどのような問題に取り組むべきかを理解しやすくするために、ゴシック系の文字を使用し、文字の識別がしやすいような工夫を凝らしています。</p> <p>◆随所に題材に関連する写真や挿絵を配置することで、英文の内容を理解する際の支援としています。</p>
2 生徒の個人学習を促す工夫	<p>◆各 Skill の練習問題、Lesson 章末の Final Task には、ある一定の例を示しています。教員の進行をサポートするだけでなく、生徒が事前に予習や復習課題としても使用できます。</p> <p>◆本文に記した二次元コードを各種機器で読み取ることにより、各 Lesson の英文、新出語の音声を聞くことができます。生徒の好きなタイミングに使用することができます。</p>

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-163	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅡ	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
177 増進堂	C II 177-901	FLEX ENGLISH COMMUNICATION II SECOND EDITION		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色 1 Skill と Lesson の連動性—繰り返し学習を行う仕組み

Skill で学習する表現や方法は、「聞く」「読む」「話す（やり取り）」「話す（発表）」「書く」の4技能5領域すべてに通ずる内容になっています。主張や理由・根拠、事実や意見など、情報を正確に捉えるための表現や方法が記されています。Skill で紹介されている内容は Lesson 内の英文や活動でも使われており、繰り返し触れるような工夫を凝らしています。繰り返し学習していくプロセスを経ていくことで、自然とインプット、インテイク、そしてアウトプットへの移行をスムーズにします。

①

Skill 5
例示・情報の追加の表現

以下に示している表現が教科書にあり、追加して理解しようとする点です。教科書に必ずしも掲載はされていません。ハンソングの中でその表現の活用をします。

例示・情報の追加

例示 ex. for example / for instance 例として, such as ~ 例として〜のよう
Japanese snacks, also called *manju*, have a long history. For example, *Onigiri* from the Heian Period was one of the oldest snacks. It is in conic. The ingredients are various, such as *tempo*, *rabbits* and *birds*, but *rice* and *soy sauce* are the same.

追加 ex. In addition to (除く) ~, in addition to (除く) ~ (追加) ex. In addition to ~ (除く) ~, in addition to (除く) ~ (追加) ex. In addition to ~ (除く) ~, in addition to (除く) ~ (追加)

Many turtles born all over the world die in Canada every year. Canada is famous for its sea, fish, mountains, lakes and forests. In addition, Canada's people are very kind and welcoming, so visitors can have a great time there. It also is very easy to travel for people who want to sleep abroad.

<Skill 5 例示・情報の追加>

Skill 5 では for example, such as ~, in addition, also などの表現を学びます。例文、練習問題をもとに使われ方を学びます。

本文中でも繰り返し使用

②

PART 1 | 2 | 3 | 4

When the babies have emerged, how do they know where to go? The reflection of moonlight on the sea shows them where to go. However, many get confused by the lights of nearby cars. Those lights are brighter than the reflection of moonlight. Confused babies often head toward roads. Some people are developing a lighting system that will help baby turtles get to the sea.

Baby turtles also face another risk: natural predators. Raccoons and crabs can easily steal eggs left on the beach. In the sea, both adult and baby turtles may come across dangerous creatures, such as sharks and killer whales. And there are environmental problems, too. Sometimes, baby turtles die because of sudden drops in ocean temperatures. Only about 1 in 1,000 baby turtles survive until it becomes an adult.

The problems that humans cause for turtles are especially serious. Shrimp trawling has reduced turtle numbers drastically. Sadly, in some countries, turtles are still hunted for their shells.

Lesson 4 の英文でも Skill で学習した表現を繰り返し使用し、定着を図ります。

Let's Listen

PART 1 | 2 | 3 | 4

Many people want to know what to do to help save sea turtles. One way to help is to pick up any trash we find on beaches. Rain and wind wash trash from beaches into the sea. Turtles often die because they eat pieces of plastic, thinking they are food. Just by cleaning up beaches, we can contribute to protecting sea turtles.

Another way is to protect sea turtles' nesting grounds. When people visit these areas, it becomes difficult for the sea turtles to get close to the places where they lay their eggs. In some regions, guards are employed to protect these nesting sites.

Nearly all species of sea turtles could become extinct in a century or so. We should not just sit back and watch this happen. By informing one person at a time, cleaning up one beach at a time, and saving one turtle at a time, we can help prevent this from happening.

Skill で学ぶ表現とは別の関連表現も、本文中で扱うことで、より深く学ぶことができます。

Let's Listen

Skill 1	考えや意見を伝え合う方法
Skill 2	複数のパラグラフの構成
Skill 3	時間・順序の表現
Skill 4	比較・対比の表現
Skill 5	例示・情報の追加の表現
Skill 6	原因・理由／結果の表現
Skill 7	言い換え／要約の表現
Skill 8	プレゼンテーションの準備
Skill 9	スキミング
Skill 10	スキヤニング
Skill 11	未知語の推測

特色2 複合的な技能の使用—思考・判断・表現力の向上

各 Lesson の語彙や表現、文法といった知識の定着、そして英文の読解を図った上で、アウトプット活動へと向かう流れになっています。より深い思考や判断、表現力の底上げをするために、Final Task では複数の技能を用いた構成を各 Lesson で設けています。聞き取った内容をまとめ、まとめた内容を自身のプレゼンテーションやライティングで使用したり、意見を共有したり、と複数の技能を使用します。Lesson 内で得た内容、単語や文法といった知識を Final Task で活用していくことで、思考、判断、表現力を伸ばす工夫を取り入れています。

<例>

① Lesson の英文を理解
 ここではギタンジャリ・ラオに関する内容を理解し、彼女が紹介する「5 steps」について理解します。

② Lesson の語彙や文法を学習、練習
 本文中で扱われている語彙や重要文法事項を学びます。Final Task でも各 Lesson で学習する語彙や文法を使用しています。初出の文法事項は、Final Task へ移る前に、十分なインプットを行うためのページを設けています。

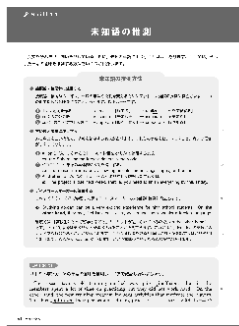
③①、②で学習した知識、技能を用いた活動
 英文理解、また、Lesson 内で使用された語彙や文法を進めた後に、それらを活用して活動を行います。ここでは、本文中で学んだ 5 steps について以下の構成で技能を複合的に扱っています。
 ① 5 steps についての詳しい内容を聞き取る、まとめる
 ② 聞き取った内容を踏まえて、グループで 5 steps を考えるための問題提起を行う
 ③ 提起した問題に対して、5 steps でどのように解決方法を見いだせるか、発表を通して、考えや意見をクラス内で共有を行う

特色3 段階的に学習できる構成—主体的学ぶ姿勢を養う

上記の特色1, 2で示しているように、学んだ表現を繰り返し使用したり、複数の技能を用いたりして、得た知識の定着、そして思考、判断、表現力の向上を踏まえています。これらの工夫の意図の裏側には、生徒自身が主体的になって取り組む姿勢を養うためでもあります。例えば、スピーキングやライティングの活動で、「～について話し合いなさい」、「～について自身の意見を書きなさい」といったように、唐突に問われるような問題では生徒自身も取り組みづらく、学習に向かう姿勢も損ねてしまう可能性があります。

そうした懸念事項を避けるために本書では、インプットからアウトプットへと段階的に学習できる仕組みを設けることで、本文中で得た知識・技能をもとに、章末のFinal Taskまで応用できる、継続的かつ意図的に内容を連動させるような構成にしています。また、そうした段階的な学習の中で、生徒がどこでつまづいているのか、生徒自身が顧みることができ、主体的に学習に取り組む姿勢を少しずつ意識づけることができます。

①



- ・各技能でも応用できる語(句), 表現を学ぶ
- ・例文, 練習問題を通して, 使われ方を学ぶ



●重要表現のインプット

②

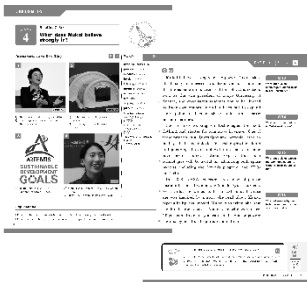


- ・本文に関連した音声の聞き取り
- ・Lesson 内容に沿った Open Question 形式の問題



●スキーマの活性化
●Lesson への導入

③

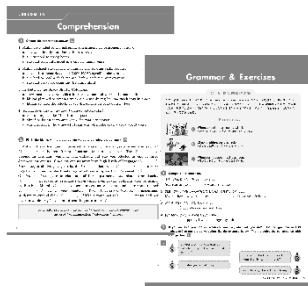


- ・本文では議論しやすいトピック, 最新の時事に関する内容を取り上げています。
(例) 向井千秋氏と新たな宇宙飛行士, アルテミス計画
- ・本文内容を踏まえたリテリング活動



●本文内容へのアプローチ
●知識・技能の習得

④

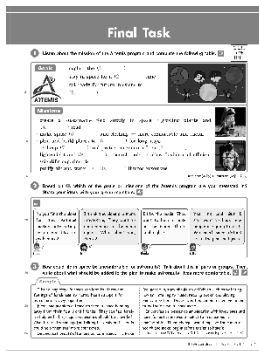


- ・ 本文内容の理解度を確認
- ・ 本文中で使用されている重要文法事項の確認



- 知識・技能の再確認
- 思考・判断・表現を用いた応用問題

⑤



- ・ 段階的なアウトプット活動

(例)

- ①本文中でも取り上げられた「アルテミス計画」について、概要を聞き取る、まとめる
- ②まとめた内容をもとに、計画の内容について、自身がどのように思うか、グループで意見を共有する
- ③どのようにすれば、宇宙飛行士がミッションを達成するために、快適な宇宙生活を過ごすことができるか、案を考え、書き起こす



- さらなる思考・判断・表現の活用
- 主体的に学習に向かう力を養う

2. 対照表

図書構成・内容	学習指導要領の内容				3 内容の取扱い	該当箇所	配当時数
	2 内容						
	(1) 英語の特徴やきまり	(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり伝え合ったりすること	(3) 言語活動及び言語の働き				
		①	②				
Skill 1	イ, ウ	イ, ウ	イ	ア (ア) (イ), イ (ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)	(1)	p.6	1
Skill 2	イ, ウ		ウ		(1)	p.7	1
Lesson 1	ア, イ, ウ, エ	ア, イ, ウ	イ, ウ, エ, カ	ア (ア) (イ), イ (ア) (イ) (ウ) (オ)	(1), (2)	p.9-23	7
Skill 3	イ, ウ	イ	イ, オ	ア (ア) (イ) (ウ), イ (ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)		p.24	1
Lesson 2	ア, イ, ウ, エ	ア, イ, ウ	イ, ウ, エ, オ	ア (ア) (イ), イ (ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)	(1), (2)	p.25-39	7
Skill 4	イ, ウ	イ, ウ	カ	ア (ア) (ウ), イ (ウ) (エ)		p.40	1
Lesson 3	ア, イ, ウ, エ	ア, イ, ウ	イ, ウ, エ, カ	ア (ア) (イ), イ (ア) (ウ) (エ) (オ)	(1), (2)	p.41-55	7
Skill 5	イ, ウ	イ, ウ	イ, オ	ア (ア) (イ), イ (ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)		p.56	1
Lesson 4	ア, イ, ウ, エ	ア, イ, ウ	イ, ウ, エ, オ, カ	ア (ア) (イ), イ (ア) (ウ) (エ) (オ)	(1), (2)	p.57-71	7
Optional 1	ア, イ, ウ		イ, ウ		(2)	p.72-75	4
Vocabulary Building 1	ウ		ウ, カ	ア (ア) イ (ウ) (エ) (オ)		p.76-77	※
Skill 6	イ, ウ	ア, イ	ウ, エ	ア (ア) (イ), イ (ア) (ウ) (エ) (オ)		p.78	1
Lesson 5	ア, イ, ウ, エ	ア, イ, ウ	イ, ウ, エ, オ, カ	ア (ア) (イ) (ウ), イ (ア) (ウ) (エ) (オ)	(1), (2)	p.79-93	8
Skill 7	イ, ウ	イ	ウ, エ	ア (ア) (イ), イ (ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)		p.94	1
Lesson 6	ア, イ, ウ, エ	ア, イ, ウ	イ, ウ, エ, オ, カ	ア (ア) (イ) (ウ), イ (ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)	(1), (2)	p.95-109	8
Skill 8	ウ					p.110	1

Lesson 7	ア, イ, ウ, エ	ア, イ, ウ	イ, ウ, エ, オ, カ	ア (ア) (イ), イ (ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)	(1), (2)	p.111-125	8
Skill 9	イ, ウ	イ	ウ, エ	ア (ア) (イ), イ (ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)		p.126	1
Lesson 8	ア, イ, ウ, エ	ア, イ, ウ	イ, ウ, エ, オ	ア (ア) (イ) (ウ), イ (ア) (イ) (ウ) (オ)	(1), (2)	p.127-141	8
Optional 2	ア, イ, ウ		イ, ウ		(2)	p.142-145	4
Vocabulary Building 2	ウ		ウ, カ	ア (ア) (ウ) イ (イ) (ウ) (エ) (オ)		p.146-147	※
Skill 10	イ, ウ		ウ			p.148	1
Lesson 9	ア, イ, ウ, エ	ア, イ, ウ	イ, ウ, エ, カ	ア (ア) (イ), イ (ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)	(1), (2)	p.149-163	8
Skill 11	イ, ウ	イ		ア (ア), イ (ア) (イ) (ウ) (オ)		p.164	1
Lesson 10	ア, イ, ウ, エ	ア, イ, ウ	イ, ウ, エ, カ	ア (ア) (イ), イ (ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)	(1), (2)	p.165-179	8
Vocabulary Building 3	ウ		ウ, カ	ア (ア) (ウ) イ (イ) (ウ) (エ) (オ)		p.180-181	※
Optional 3	ア, イ, ウ		イ, ウ		(2)	p.182-185	4
HOT TOPICS	イ	イ, ウ	エ	ア (ア) (イ), イ (ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)		p.186-191	※
						計	99
※は各学校で弾力的運営を想定している。							